

～ なんかん米 光る粒張り 粒ぞろい ～

**コシヒカリは、平年に比べ草丈が長く、葉色が濃いことから倒伏が懸念されますので、1回目の穂肥は施用しない!**

**穂肥1回目の理想稲姿**

**草丈：76cm、莖数：410本/m<sup>2</sup>、葉令：12.0、葉色：34.0**

- ・コシヒカリは、地力窒素の発現量が多いと見込まれますので、幼穂形成期まで、中干しを確実に行ってください。
- ・コシヒカリ等で葉もち病が確認されています。早期発見・早期防除に努めましょう。

**1 水稻生育状況 (7月9日調査) 草丈：長い、莖数：少、葉数：並、葉色：やや濃い**

品 種	移植	草 丈(cm)			莖 数(本/m <sup>2</sup> )			葉 数(葉)			葉 色 (SPAD)		
		本値	目値	目比	本値	目値	目比	本値	目値	目比	本値	目値	目比
コシヒカリ			65			460			10.9			36.0	
こしいぶき			62			510			11.6			37.0	

※本年値については、各地域発行の情報をご覧ください。

(本値：本年値 目値：目標値 目比：目標との比較)

**2 幼穂形成期・出穂期の予想と穂肥施用のめやす (注：稚苗5/5植で予想)**

品 種 名	幼穂形成期	出穂期	1回目穂肥			2回目穂肥		
			出穂前日数	施用時期	窒素量(kg/10a)	出穂前日数	施用時期	窒素量(kg/10a)
ゆきん子舞	7/3~4	7/26~27		施		14	7/12~13	1.0~1.5
こしいぶき	7/4~5	7/27~28		用		14	7/13~14	1.5
わたぼうし	7/2~4	7/25~27		済		12~10	7/13~7/17	1.0~1.5
コシ	5/5植	7/13	8/4			10	7/25	1.0~2.0
ヒカリ	5/10植	7/16	8/7				7/28	
こがねもち	7/10	8/1	18~15	7/14~7/17	0.5~1.0	10	7/22	1.0~2.0

☆気象状況によっては予想日が変わります。今後の情報にご注意下さい。

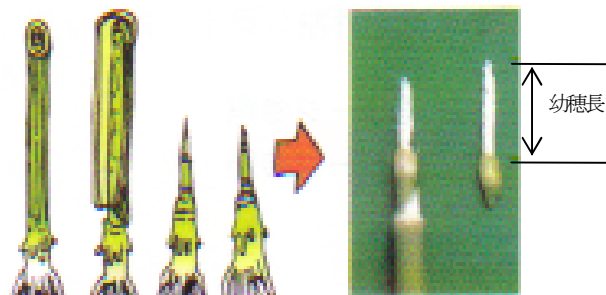
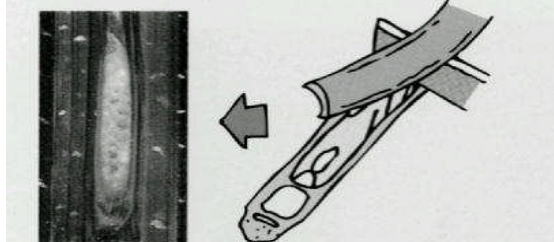
**【幼穂長による出穂前日数のめやす】**

**必ず幼穂長を確認しましょう**

幼穂長 (cm)	0.02	0.1	0.13	0.2	0.5~1.0	4.0~6.0
出穂前日数 (日)	30	24	23	20	18	12

**【幼穂の長さを確認する】**

(その1 カッターなどで割る)



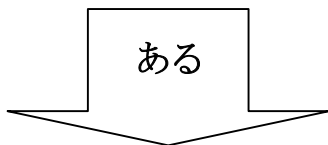
【 裏面に続く 】

# 病害虫情報

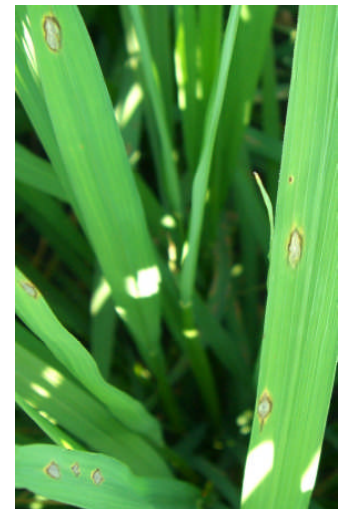
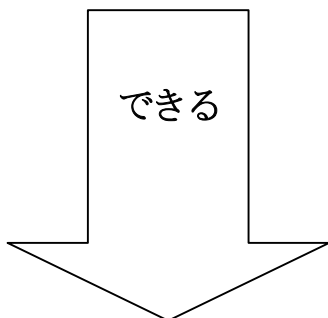
## ～注意～

- 山場のほ場で「いもち病」がみられます!!
- 多発しているほ場もみられます!!
- まずは、自分のほ場を確認しましょう!!

### ① ほ場でいもち病の発生を確認しましょう！



### ② 発生していて、上位葉まで確認できる！



葉いもち病斑 (写真)

### ③ 薬剤防除を行う！

薬剤名	剤系	使用時期 (収穫前まで)	散布量(10a 当り)	希釈倍率
ブラシン	粉剤DL 3kg	21日前まで	3～4kg	
	フロアブル 500ml	21日前まで		1000倍

※使用回数は、2回以内なので共同防除(ジグヘ) 実施地区は、個人防除は1回のみです。

### (2) 稲こうじ病

前年、稲こうじ病が発生した圃場では、前年の菌が残っているため今年も発生しやすくなります。

**前年発生田では、適期防除に努めましょう！**

### (3) カメムシ対策(草刈り)、中干し後の水管理(飽水管理)の徹底

○今年の斑点米カメムシ類の発生量は平年並みです。畦畔等の雑草が結実しない間隔で草刈りを徹底しましょう。

○幼穂形成期頃(出穂前25日から)は水が最も必要です。中干し後の飽水管理を徹底しましょう。

詳しくは JA 営農センターへ